

○素早い情報収集が命を救う

花の町地域では、昨年度、災害時でも必要な情報を素早く手に入れて命を守れるよう、防災手ぬぐいを地域の全戸に配布しました。

手ぬぐいには、非常持出品のリスト、手ぬぐいの色々な使い方、発災時のタイムラインなど、この1枚に多くの情報が詰め込まれています。加えて、発災時にこの手ぬぐいをドアにかけておくことで、安否確認もできるようになっています。

これまで、森ノ宮医療大学の施設を使用した防災訓練や、コスモスクエア地区の町会の棟ごとで管理組合を中心に、消防署と消火訓練を実施するなど、災害時に命を守る「自助」を目的とした活動を行っています。

また、令和4年4月より区広報紙さざんかの毎月の配布を通じた、地域の見守りも始めました。顔と顔を合わせながら、地域のつながりを深め、災害時に互いが助け合える「近助」の活動を進めています。



▲防災手ぬぐい

○花の町地域の取組み

避難所開設訓練の開催や、災害の体験ができる施設等で、防災・減災について理解を深める研修を行うなど、様々な取組を行っています。昨年11月には防災リーダーを中心とした地域役員に向けて、防災のワークショップを行いました。講義やシミュレーションゲームを通して、災害時の正しく迅速な対応を学びました。



▲ワークショップの様子

この取組みがめざす主なSDGs



【問合せ】区協働まちづくり課 窓口④番 ☎6682-9734 (地域活動協議会担当) ☎6682-9974 (防災担当)

☆キーワードは「自助」と「近助」

○地域の想い

我々の地域は、避難所の南港桜小学校があるポートタウン地区とコスモスクエア地区の2つからなる広い地域のため、地区間の距離が離れていることや情報が届きにくいことが地域課題です。そこで、年4回発行している「花だより」の中で、防災・減災に関する知識や情報の周知に取り組んでいます。2地区の距離が離れているからこそ、住民同士が互いに命を守る「近助」が非常に重要です。「近助」を広げるためには、日常的に災害に興味を持ってもらい、危機感を感じてもらう必要があります。まちの皆さんには「花だより」をぜひ読んでいただき、災害を意識していただくきっかけとして使っていただければ嬉しいです。



▲川邊会長 ▲楠本さん



▲高橋さん ▲渡邊さん

現在は、コロナ禍でイベントもめっきり減ってしまいました。状況が好転したら、実際の訓練やイベントなどを通して、2地区みんなで、「つながりづくり」を積極的に行っていきたいと思います。また、防災アプリや各種SNSなどのICTをうまく活用し、高齢者の方でもお持ちの機器で必要な情報収集ができるような環境づくりを整えていきたいです。地域課題を踏まえながら、色々な活動を行っていければいいですね。



防災の第一歩は、災害に対して興味を持ち、危機感を持つことだということを学びました。皆さんももう一度、発災時の動きや備蓄品の確認を行いましょ。

今回は **さざんか海の町協議会!**
6月号をお楽しみに!



すみのえ学びニュース

夜の学校が塾って??の巻

住之江区では、民間塾事業者と連携し、一部中学校の教室等を活用した課外授業を実施しています!

対象 住之江区内在住の全中学生

受講につきましては塾代助成カードが使えます。詳しくは住之江区ホームページをご覧ください。

塾生募集中!



区ホームページはこちら

<加賀屋塾>

開催場所 加賀屋中学校
開催日 毎週火曜・金曜



<南港塾>

開催場所 南港南中学校
開催日 毎週月曜・木曜

<真住塾>

開催場所 真住中学校
開催日 毎週月曜・木曜

今年度新たに区内小学校に着任された校長先生をご紹介します。



安立小学校長
にし まさひこ
小西 昌彦先生



住之江小学校長
もり まさと
森 政人先生



平林小学校長
やまぐち ひろのり
山口 博功先生



清江小学校長
ふたつまた みねお
二俣 峰雄先生

各小学校の様子などは各校のホームページをご覧ください。

問 区保健福祉課(教育) 窓口③番 ☎6682-9993



あなたの身近にSDGs

「『SDGsの目標達成に向けて取り組みましょう!』と言われても何をすればいいのかよくわからないし、遠い世界のお話でしょ(w)」と思いませんか?

SDGsは、持続可能でよりよい世界をめざす国際目標ですが、そのすべてが、私たちの普段の生活に結びついています。目標を達成できるかどうかは、ひとりひとりの行動にかかっている、とも言えますね。

2025年の大阪・関西万博でSDGs都市としてお客さまを迎え入れられるよう、様々な取組がある中で、私たちが今日からでも気軽に始められることをご紹介します!

私たちにもできる「フードドライブ」

家にある未使用の食品・食材を、フードバンク団体や地域の施設などに寄付する活動を「フードドライブ」といいます。

支援を必要としている方々を応援すると同時に、食品ロス削減にもつながるこの取組は、おうちの食品棚を整理することから始められますよ!



フードドライブが「子ども食堂」にもつながっています

「子ども食堂」をご存じですか?

子ども食堂は、成長期の子どもが温かい食事を食べられるように支援するだけでなく、ほかの子どもたちや地域の方たちとの交流もできる大切な場となっています。



大阪市では、フードドライブの取組を推進しています。住之江区にもフードドライブに取り組んでいる店舗等があります。直接お持ち込みください。



詳しくはこちら

ここにも注目! 広報紙で紹介する取組に、めざすSDGsを掲載しています。合わせてご覧ください!

住之江区SDGsビジョン

- 住之江区全体でSDGsを正しく理解します
- 住之江区全体で日常生活の中のSDGsに気付き行動します
- 住之江区はSDGs都市として大阪・関西万博のお客さまをお迎えします



問 区総務課(ICT・企画) 窓口④番 ☎6682-9992